

大雪等の対応に係る関係省庁災害対策会議

議 事 次 第

日時：平成26年2月16日（日）13:00～

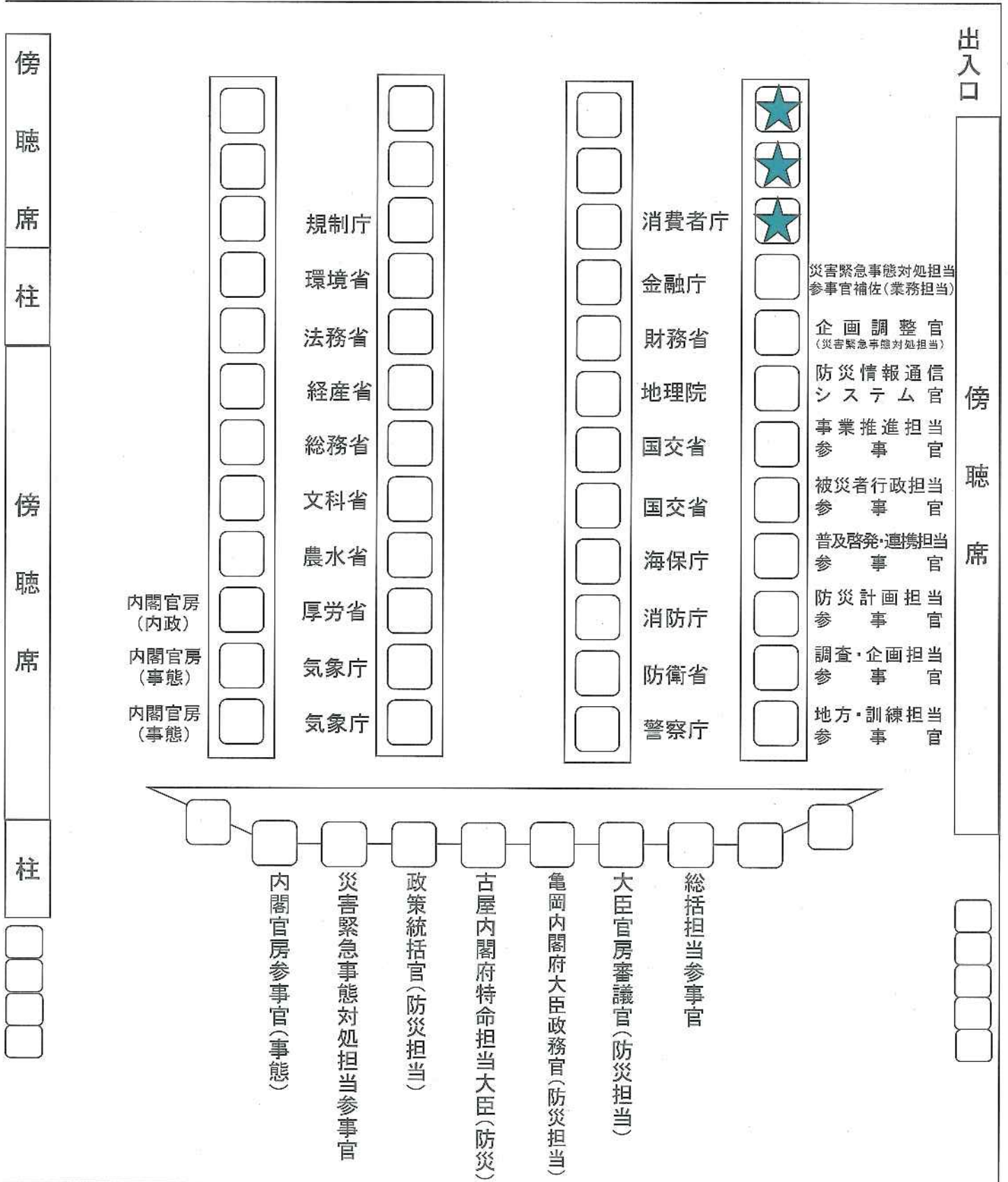
場所：中央合同庁舎第5号館 防災A会議室

1. 古屋内閣府特命担当大臣（防災）と山梨県知事とのテレビ会議
2. 古屋内閣府特命担当大臣（防災）挨拶
3. 今後の気象の見込みについて
4. 被害状況及び各省庁の対応状況について
5. その他

大雪等の対応に係る関係省庁災害対策会議

配席図

平成26年2月16日(日)13:00～
於:内閣府防災A会議室



1 気象庁

2月14日から16日の大雪について

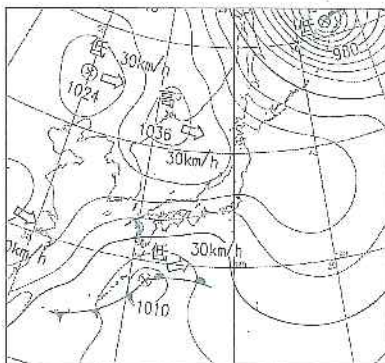
平成26年2月16日
気象庁

1

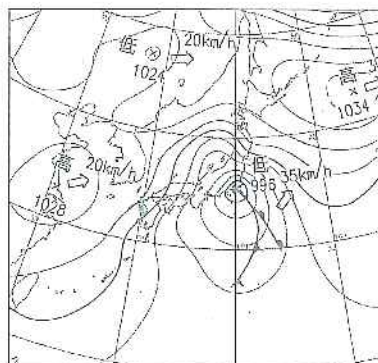
2月14日から16日にかけての気象概況



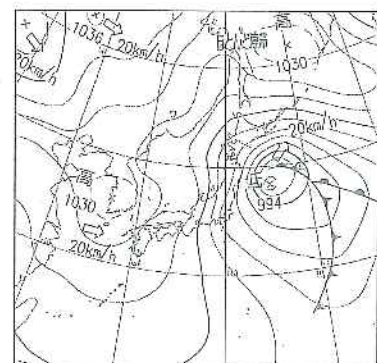
- 前線を伴った低気圧が、14日(金)から16日(日)にかけて発達しながら本州の南岸を北東へ進み、16日09時現在、日本の東海上を北東に進んでいる。
- 西日本からと北日本の広い範囲で雪が降り、特に関東甲信地方では、14日夜から15日にかけて大雪となった。
- また14日から15日にかけて、千葉県や伊豆諸島北部では200ミリを超える大雨となったところがあった。
- 北日本では大雪や暴風、暴風雪、高波に警戒。北海道では吹きだまりによる交通障害に警戒。



天気図 2月14日09時

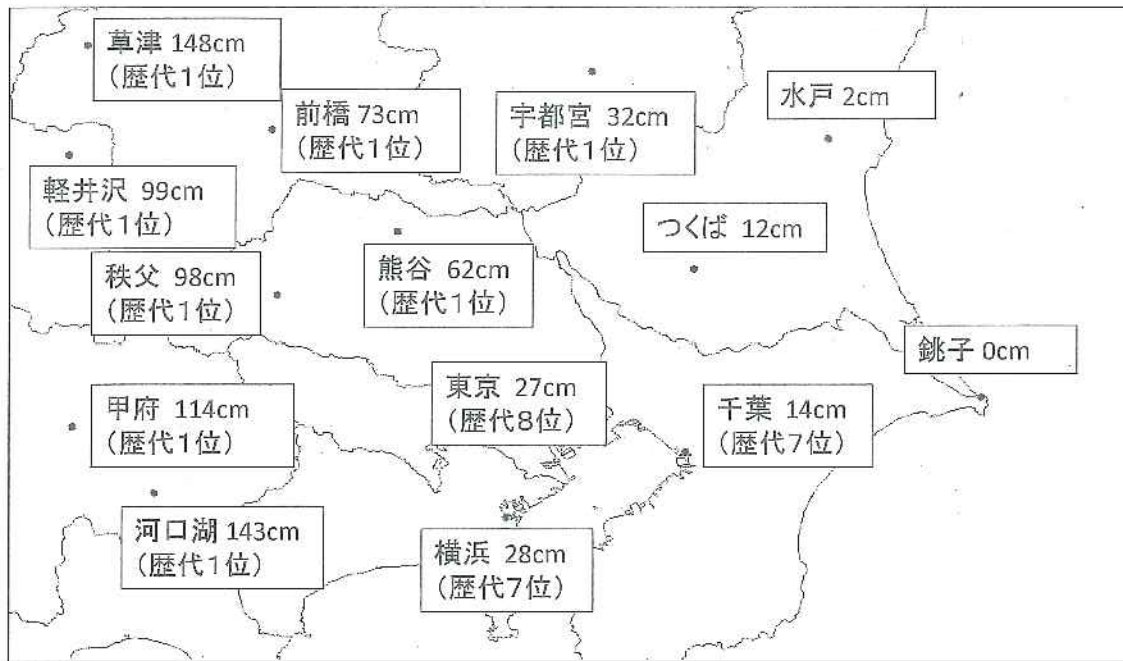


天気図 2月15日09時



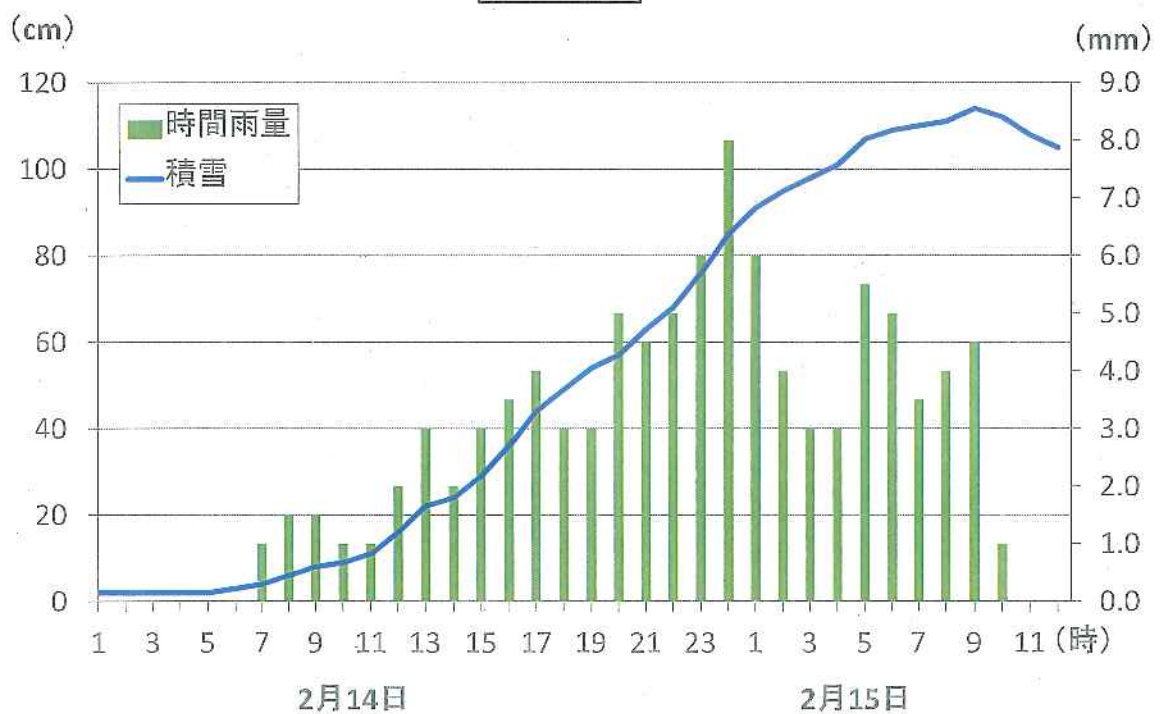
天気図 2月16日09時

2

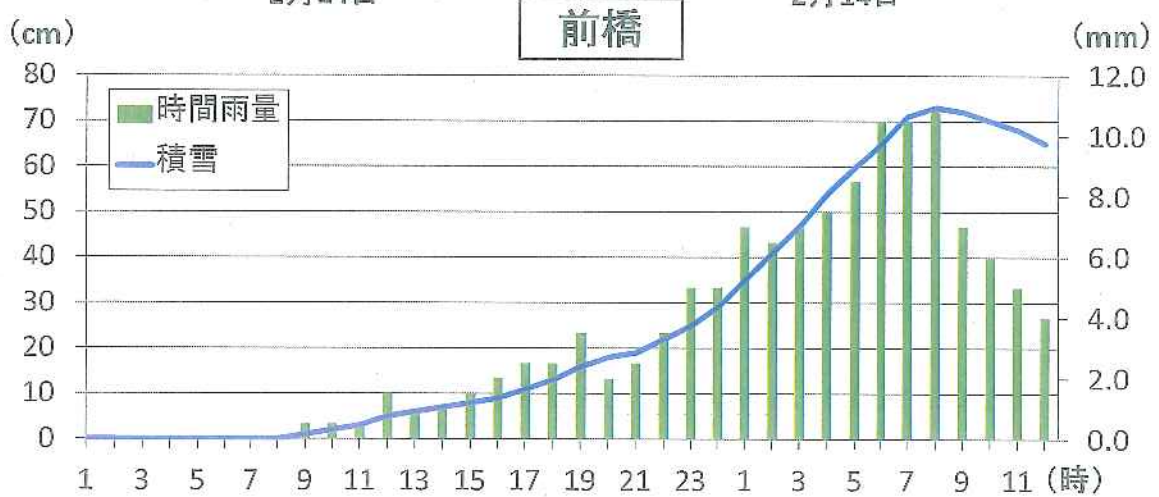
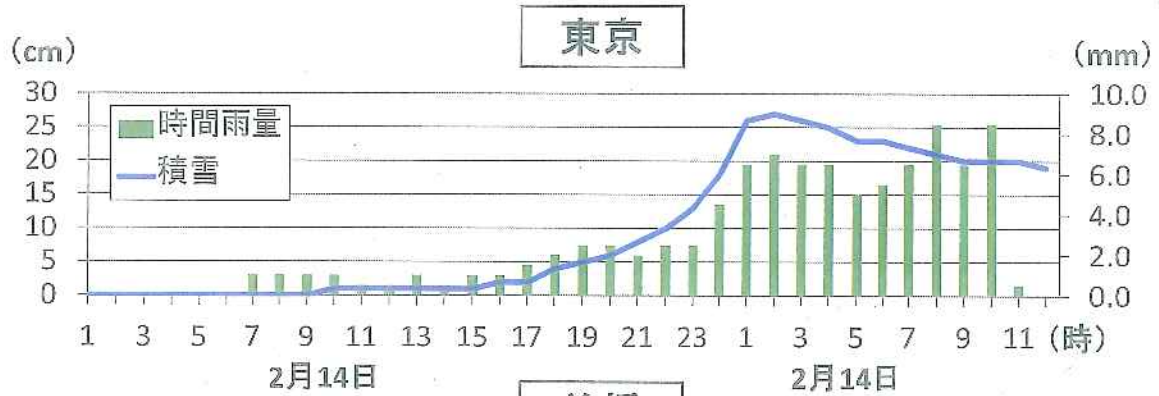


2月14日から16日にかけての降雪と雨量の推移

甲府



2月14日から16日にかけての降雪と雨量の推移



雪、雨、風の実況

■雪

○主要都市の10時現在の積雪の深さ(30cm以上)と前日差

稚内 43 cm (-2 cm)	八戸 61 cm (+39 cm)	熊谷 36 cm (-19 cm)
旭川 72 cm (+1 cm)	横手 148 cm (+12 cm)	長野 68 cm (+10 cm)
留萌 76 cm (+2 cm)	湯沢 115 cm (+2 cm)	松本 61 cm (-14 cm)
札幌 79 cm (+3 cm)	宮古 41 cm (+12 cm)	飯田 56 cm (-23 cm)
網走 76 cm (+13 cm)	新庄 133 cm (0 cm)	甲府 78 cm (-34 cm)
根室 44 cm (+11 cm)	山形 50 cm (+11 cm)	高山 68 cm (+11 cm)
帯広 47 cm (+23 cm)	福島 36 cm (-3 cm)	高田 68 cm (-18 cm)
函館 43 cm (+5 cm)	若松 45 cm (0 cm)	
青森 84 cm (+32 cm)	前橋 38 cm (-32 cm)	

■雨

○16日11時までの72時間降水量

千葉県 勝浦	256.5ミリ
東京都 三宅坪田	245.5ミリ
東京都 三宅島	200.0ミリ
東京都 大島	170.0ミリ

■風

北海道 えりも岬	北北東	32.9メートル(16日03時14分)
栃木県 那須	北西	23.1メートル(16日06時50分)
宮城県 江ノ島	北北東	22.7メートル(15日20時34分)

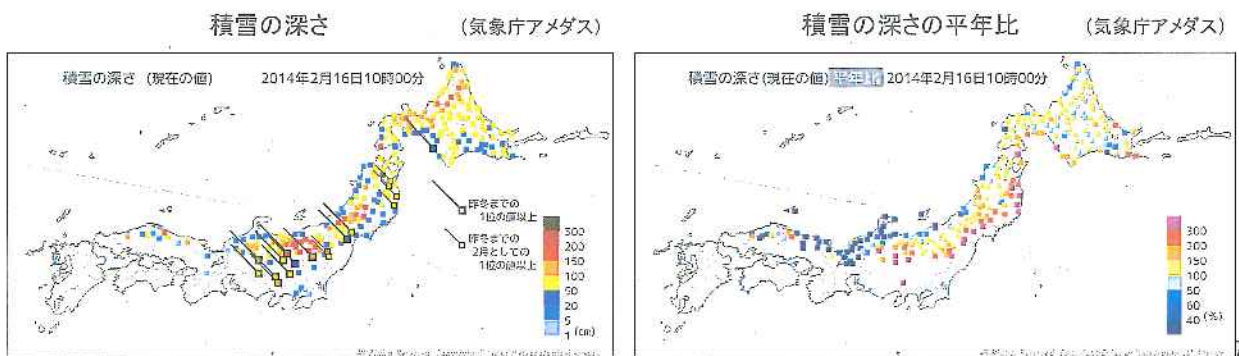
(概況)

- ・北日本から東日本太平洋側積雪深が平年を上回っているところが多い。
- ・その他の地域では積雪深が平年を下回っているところが多い。

【積雪の深さ(2月16日10時現在)】

◇ 悪沢(わるさわ)(群馬県)	438cm	津南(つなん)(新潟県)	257cm (平年比 119%)
酸ヶ湯(すかゆ)(青森県)	358cm (平年比 111%)	◇ 旭岳(あさひだけ)(北海道)	250cm
◇ 猿倉(さるくら)(長野県)	293cm	桧枝岐(ひのえまた)(福島県)	231cm (平年比 148%)
肘折(ひじおり)(山形県)	290cm (平年比 109%)	◇ 稲子(いなご)(宮城県)	225cm
◎ 湯川(ゆかわ)(岩手県)	279cm	大山(だいせん)(鳥取県)	198cm (平年比 164%)

無印:気象庁アメダス ◇国土交通省データ ◆防災科学技術研究所データ ◎自治体データ



雪、風、波等の予想

■ 雪

17日06時までの24時間降雪量(多いところ)

北海道

- ・オホーツク海側の多いところ 50センチ
- ・日本海側と太平洋側東部の多いところ 40センチ

■ 風

17日にかけて予想される最大風速

- ・東北太平洋側 陸上 20メートル 海上 25メートル
- ・東北日本海側 陸上 18メートル 海上 16メートル
- ・北海道西部 陸上 20メートル 海上 23メートル
- ・北海道東部・オホーツク海側南部 陸上 20メートル 海上 25メートル

◎雪を伴い、暴風雪となるところがある見込み。

■ 波

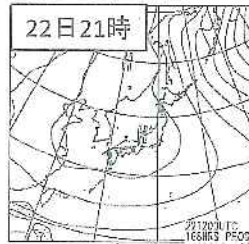
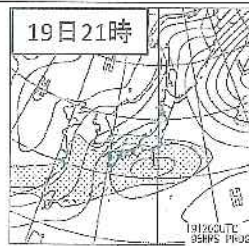
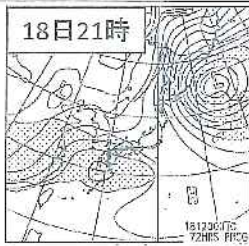
16日に予想される波の高さ

- ・東北太平洋側 8メートル
- ・東北日本海側 4メートル
- ・北海道太平洋側 6メートル

◎東北地方や北海道地方を中心に、17日にかけて波の高い状態が続く見込み。

今後1週間の天気推移

○17日から23日にかけての天気は、北日本と、東日本や西日本の日本海側は、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雪または雨の日が多い。東日本や西日本の太平洋側は、18日から19日にかけて本州南岸を進む低気圧の影響で雨または雪が降る見込み。
 ○17日は、発達する低気圧の影響で、北海道地方では太平洋側東部などで大荒れの天気となる。



東京地方の週間天気予報

17月	18火	19水	20木	21金	22土	23日
晴	晴時々曇	曇一時雪か雨	曇一時雪か雨	晴時々曇	晴時々曇	晴時々曇
☀	☀	☁	☁	☀	☀	☀

甲府の週間天気予報

17月	18火	19水	20木	21金	22土	23日
晴	晴のち曇	曇のち一時雪	曇一時雪	晴時々曇	晴時々曇	晴時々曇
☀	☀	☁	☁	☀	☀	☀

栃木県の週間天気予報

17月	18火	19水	20木	21金	22土	23日
晴	晴時々曇	曇一時雪か雨	曇一時雪か雨	晴時々曇	晴時々曇	晴時々曇
☀	☀	☁	☁	☀	☀	☀

群馬県南部の週間天気予報

17月	18火	19水	20木	21金	22土	23日
晴時々曇	晴時々曇	曇一時雪か雨	曇一時雪か雨	晴時々曇	晴時々曇	晴時々曇
☀	☀	☁	☁	☀	☀	☀



今後の見通し

【3月7日までの見通し】

1か月予報(2月7日発表)

向こう1か月(2月8日～3月7日)の日本海側の降雪量は、

- ・北海道と東北では、
平年並か少ない見込み
- ・北陸では
ほぼ平年並の見込み
- ・近畿日本海側と山陰では
平年並が多い見込み。

降雪量

2月8日～3月7日

「多い」または「少ない」確率が40%以上の地域
 地域名の下の数値は、左から、少ない:平年並:多いの確率(%)

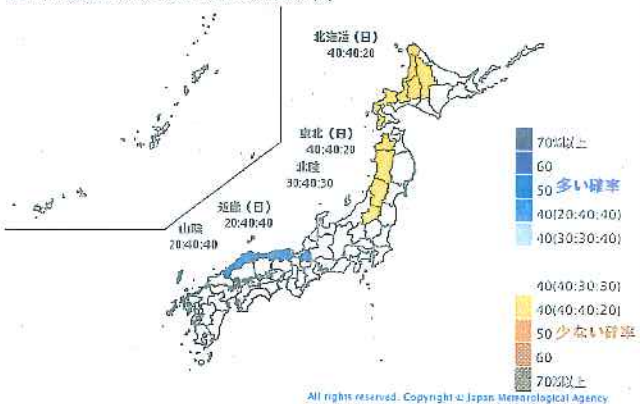
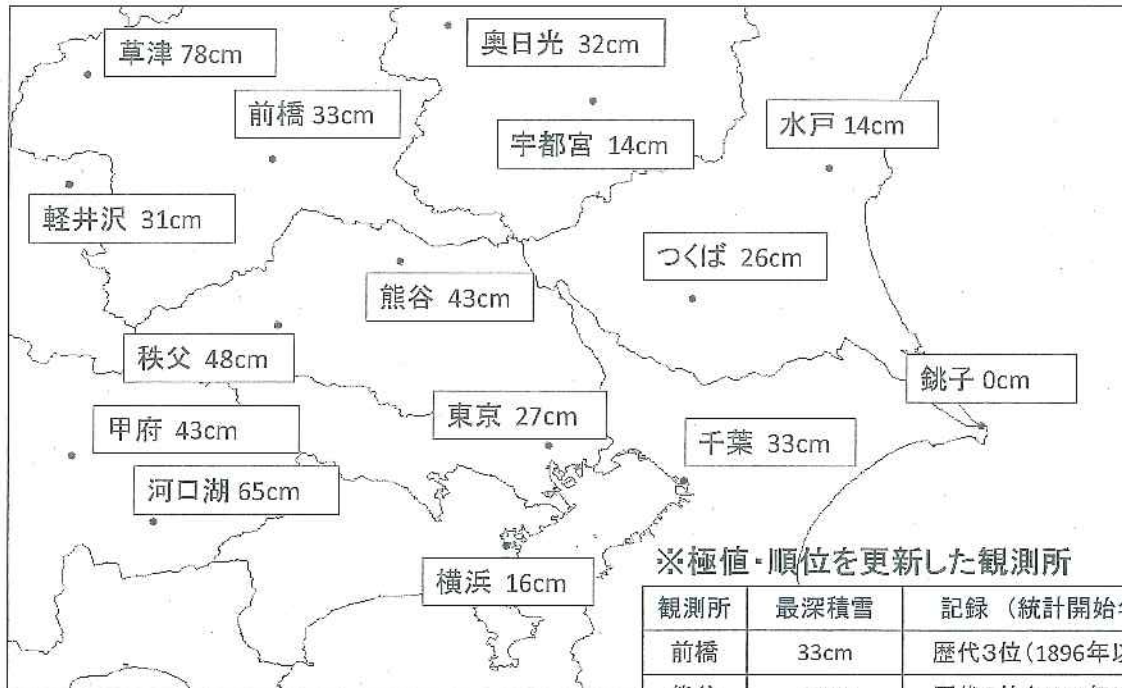


図 向こう1か月(2月8日～3月7日)の降雪量の確率予報分布図

なお、2月17日から2月26日を対象とした異常天候早期警戒情報は発表しておらず、この期間の日本海側の降雪量は、かなり多くはならない見込み。

※ 異常天候早期警戒情報は、原則火・金曜日14時30分発表。次回発表日は2月14日。
 1か月予報は、毎週金曜日14時30分発表。次回発表日は2月14日。



観測所	最深積雪	記録 (統計開始年)
前橋	33cm	歴代3位(1896年以降)
熊谷	43cm	歴代2位(1896年以降)
東京	27cm	歴代8位(1875年以降)
千葉	33cm	歴代1位(1966年以降)

平成26年2月大雪に伴う災害派遣について

(11時00分現在)

※数値等は速報値であり、今後変わることがある。

【①山梨県甲府市近郊における救援活動】

1. 災害派遣の概要

- | | |
|---------------|-----------------------|
| (1) 要 請 日 時 | 平成26年2月15日 (土) 11時20分 |
| (2) 要 請 元 | 山梨県知事 |
| (3) 要 請 先 | 第1師団長 (練馬) |
| (4) 要 請 の 概 要 | 人命救助及び物資輸送 |
| (5) 発 生 場 所 | 山梨県甲府市近郊 |

2. 災害派遣までの経緯

平成26年2月14日 (金)、山梨県甲府市近郊 (甲府市～河口湖間) において雪崩が発生。西湖付近では観光バス (乗員及び乗客19名) 1両が降雪等により孤立状態となるほか、精進湖付近において孤立者が発生。

警察、消防により車両の乗員及び孤立者の救出を試みるも、降雪により救出に至らず、15日 (土) 11時20分、山梨県知事から陸上自衛隊第1師団長に対して災害派遣要請があった。

3. 防衛省・自衛隊の対応

- | | |
|----------|---|
| (1) 派遣部隊 | 陸 自 第1飛行隊 (立川)、東部方面航空隊 (立川)、第1特科隊 (北富士)、第364施設中隊 (駒門) |
| (2) 派遣規模 | 人 員 約15名 (延べ約35名) |
| | 車 両 約 5両 (延べ約10両) |
| | 航空機 7機 (延べ 17機) |

(3) 主な対応状況

【15日 (土)】

- | | |
|--------|--|
| 11時20分 | 山梨県知事から第1師団長に対して、救援活動に係る災害派遣要請。 |
| 12時45分 | 第1飛行隊のFAST-Force (OH-6×1機) が離陸。以後、偵察活動を実施。 |
| 14時23分 | 第1飛行隊のUH-1×1機が離陸。以後、人命救助活動及び物資輸送活動を実施。 |
| 14時58分 | 東部方面航空隊のUH-1×1機が離陸。以後、人命救助活動を実施。 |

- 15時04分 第1特科隊の偵察部隊（人員約5名、車両1両）が偵察活動を実施。
- 15時25分 第1特科隊の偵察部隊（人員約5名、車両1両）が偵察活動を実施。
- 16時55分 第1特科隊の輸送部隊（人員約5名、車両2両）が駐屯地を出発。以後、物資輸送活動を実施。
- 17時07分 第1特科隊の輸送部隊（人員約5名、車両1両）が駐屯地を出発。以後、物資輸送活動を実施。
- 17時16分 第1飛行隊のUH-1×1機が離陸。以後、人命救助活動を実施。
- 17時55分 第1飛行隊のUH-1×1機が離陸。以後、人命救助活動を実施。
- 19時16分 第1飛行隊のUH-1により孤立者（乗員及び乗客19名）を全員救出完了。
- 19時20分 第1飛行隊のUH-1により孤立者4名の救助を完了。
- 20時39分 第1飛行隊のUH-1により孤立者1名の救助を完了。
- 21時27分 東部方面航空隊のUH-1×2機が立川駐屯地を離陸。
- 22時19分 東部方面航空隊のUH-1×2機が立川駐屯地を離陸。

【16日（日）】

- 00時02分 東部方面航空隊のUH-1×2機が立川駐屯地を離陸。
- 00時26分 東部方面航空隊のCH-47×1機が立川駐屯地を離陸。
- 02時40分 第364施設中隊（人員4名、車両3両）が駒門駐屯地を出発。
- 03時00分 第1特科連隊の偵察部隊（人員4名、車両1両）が北富士駐屯地を出発。
- 05時46分 第1飛行隊のUH-1×1機が滝ヶ原駐屯地を離陸。
- 06時30分 東部方面航空隊のUH-1×1機（映伝機）が立川駐屯地を離陸。
- 06時38分 東部方面航空隊のUH-1×1機（中継機）が立川駐屯地を離陸。
- 08時24分 東部方面航空隊のUH-1×1機が滝ヶ原駐屯地を離陸。
- 10時00分 第1特科隊の除雪部隊（人員5名、車両2両）が北富士駐屯地を出発。

【②長野県軽井沢町における人命救助活動】

1. 災害派遣の概要

- (1) 要請日時 平成26年2月15日(土) 21時48分
- (2) 要請元 長野県知事
- (3) 要請先 陸上自衛隊第13普通科連隊長(松本)
- (4) 要請の概要 人命救助等
- (5) 発生場所 長野県軽井沢町

2. 災害派遣までの経緯

15日(土)、雪害のため長野県軽井沢町の浅間山麓広域農道において車両約200両が渋滞したため、同日21時48分、長野県知事から陸自第13普通科連隊長に対して、人命救助等に係る災害派遣要請があった。

3. 防衛省・自衛隊の対応

- (1) 派遣部隊 陸自第13普通科連隊長(松本)
- (2) 派遣規模 人員 約80名(延べ約120名)
車両 延べ約10両

(3) 主な対応状況

【15日(土)】

- 21時48分 長野県知事から第13普通科連隊長に対し、**災害派遣要請**。
- 23時07分 第13普通科連隊のFAST-Force(人員約10名、車両2両)が駐屯地を出発。以後、偵察活動を実施。
- 23時20分 第13普通科連隊の増援部隊(人員約30名、車両約10両)が駐屯地を出発。以後、偵察活動を実施。

【16日(日)】

- 01時16分 第13普通科連隊の主力部隊(人員約80名)が松本駐屯地を出発。

【③群馬県高崎市における人命救助活動】

1. 災害派遣の概要

- (1) 要請日時 平成26年2月15日(土) 14時50分
- (2) 要請元 群馬県知事
- (3) 要請先 第12旅団長(相馬原)
- (4) 要請の概要 人命救助
- (5) 発生場所 群馬県高崎市箕郷町松之沢

2. 災害派遣までの経緯

平成26年1月14日(金) 0100頃、群馬県高崎市箕郷町松之沢^{みさとちょうまつのさわ}で雪崩が発生し、男性4名が車両で琴平山に向かう途中立ち往生し、身動きがとれなくなったことから、同年1月15日(土) 14時50分群馬県知事から第12旅団長に対して、人命救助に係る災害派遣要請があった。

3. 防衛省・自衛隊の対応

- (1) 派遣部隊 陸自 第12偵察隊(相馬原)、第48普通科連隊(相馬原)、第12ヘリコプター隊(相馬原)
- (2) 派遣規模 人員 (延べ約20名)
車両 (延べ約5両)
航空機 1機(延べ2機)
- (3) 主な対応状況

【15日(土)】

- 12時57分 第12偵察隊が(人員約5名、車両2両)自主派遣により相馬原駐屯地を出発。以後、偵察活動を実施。
- 14時50分 群馬県知事から第12旅団長に対して、人命救助に係る**災害派遣要請**。
- 15時35分 第48普通科連隊(人員約10名、車両1両)のFAST-Forceが相馬原駐屯地を出発。
- 16時36分 第12偵察隊が、徒歩で下山中の孤立者4名を発見。以後、警察に引き渡し。
- 17時04分 第12ヘリコプター隊OH-6×1機が相馬原駐屯地を離陸。以後、航空偵察活動を実施。
- 23時16分 第12後方支援隊(人員2名、車両1両)及び第12施設中隊(人員2名、車両1両)の第1偵察組が新町駐屯地を出発。

【16日(日)】

- 06時22分 第1飛行隊のOH-1×1機が立川駐屯地を離陸。

【④福島県福島市における人命救助活動】

1. 災害派遣の概要

- (1) 要 請 日 時 平成26年2月15日(土) 15時44分
- (2) 要 請 元 福島県知事
- (3) 要 請 先 陸上自衛隊第44普通科連隊長(福島)
- (4) 要 請 の 概 要 人命救助
- (5) 発 生 場 所 福島県福島市土湯峠^{つちゆとうげ}
- (6) 撤収要請日時 平成26年2月15日(土) 19時45分

2. 災害派遣までの経緯

15日(土)頃、福島県福島市土湯峠付近で大雪のため孤立車両約20両が発生。同日15時44分福島県知事から陸自第44普通科連隊長(福島)に対して、人命救助に係る災害派遣要請があった。

3. 防衛省・自衛隊の対応

- (1) 派遣部隊 陸 自 第44普通科連隊長(福島)
- (2) 派遣規模 人 員 約60名
車 両 1両

(3) 主な対応状況

【15日(土)】

- 15時44分 福島県知事から第44普通科連隊長に対して、人命救助に係る**災害派遣要請**。
- 18時04分 第44普通科連隊長の救助部隊(人員約20名)が現地到着後、偵察活動を開始。
- 18時10分 第44普通科連隊長の増援部隊(人員約40名、車両1両)が逐次駐屯地を出発。
- 19時45分 交通状況の回復により孤立状態が解消されたため、**撤収要請**。

【⑤福島県郡山市における人命救助活動】

1. 災害派遣の概要

- (1) 要 請 日 時 平成26年2月15日(土) 17時00分
- (2) 要 請 元 福島県知事
- (3) 要 請 先 陸上自衛隊第6特科連隊(郡山)
- (4) 要 請 の 概 要 人命救助
- (5) 発 生 場 所 福島県猪苗代湖付近
- (6) 撤収要請日時 平成26年2月15日(土) 19時00分

2. 災害派遣までの経緯

15日(土)頃、福島県猪苗代湖付近で大雪のため孤立車両が発生。同日17時00分福島県知事から陸自第6特科連隊長(郡山)に対して、人命救助に係る災害派遣要請があった。

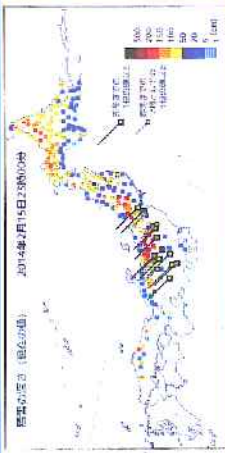
3. 防衛省・自衛隊の対応

【15日(土)】

- 17時00分 福島県知事から第6特科連隊長に対して、人命救助に係る災害派遣要請。
- 19時00分 第6特科連隊が派遣準備中のところ、救助対象の孤立車両について、交通状況が回復したことにより、孤立状態が解消されたため、撤収要請。

状況

平成25年1月14日（金）から15日（土）にかけて、上空に張り出した強い寒気と日本南岸を北東に進む「南岸低気圧」が予想以上に停滞した影響で南から湿った空気が張り込み、関東から東北地区にかけて大雪をもたらした。



対応①

【① 山梨県甲府市近郊における救援活動】

1. 経緯

山梨県甲府市近郊において雪崩が発生、孤立者等が発生したため、15日11時20分、山梨県知事から陸自第1師団長（練馬）に対して、人命救助及び物資輸送に係る災害派遣要請

2. 対応

派遣部隊 陸自：第1飛行隊（立川）
東部方面飛行隊（立川）
第1特科隊（北富士）

派遣規模 人員延べ：約35名、車両延べ：約10両、航空機：延べ約17機
活動 孤立者の人命救助活動、孤立地域への物資輸送及び道路啓開



【② 長野県軽井沢町における人命救助活動】

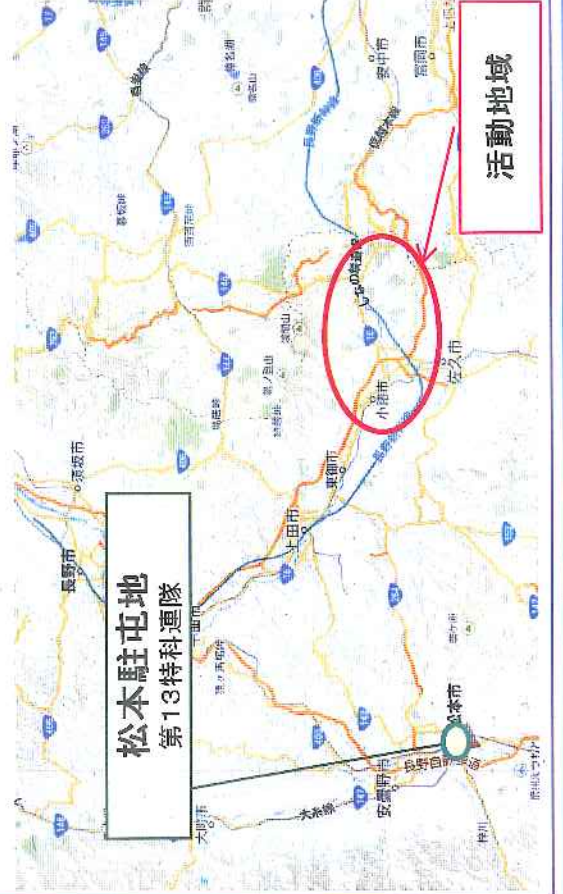
1. 経緯

長野県北佐久郡軽井沢町の浅間山麓広城農道で大雪により、車両が大渋滞となったため、15日21時48分、長野県知事から陸自第13普通科連隊長（松本）に対して、人命救助に係る災害派遣要請

2. 対応

派遣部隊 陸自：第13特科連隊（松本）
派遣規模 人員延べ：約120名
車両延べ：約10両

活動 人命救助及び物資輸送にかかる道路啓開活動





対応②

【③ 群馬県高崎市における人命救助活動】

1. 経緯
群馬県高崎市箕郷町松之沢において雪崩が発生、4名が孤立状態となったため、15日14時50分、群馬県知事から陸自第12旅団長(相馬原)に対して、人命救助に係る災害派遣要請

2. 対応
派遣部隊 陸自：第8普通科連隊(相馬原) 第12偵察隊(相馬原) 第12ヘリコプター隊(相馬原)
派遣規模 人員延べ：約20名、車両延べ：約5両、航空機延べ：約2機
活動 孤立状態となった4名の人命救助活動

相馬原駐屯地
第48普通科連隊、第12偵察隊、第12ヘリコプター隊

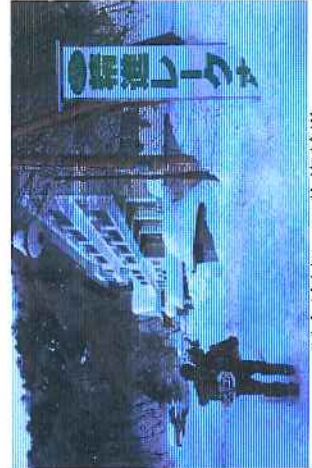
【松之沢付近】
下山中の孤立者4名を救助



孤立者の救助
(山梨県甲府市)



孤立地域への物資輸送
(山中湖村老人福祉センター)



孤立地域への物資輸送
(精進しーくホテル)



孤立者の救助
(群馬県高崎市)

【④ 福島県福島市における人命救助活動】

1. 経緯
福島県福島市土湯峠付近で大雪により車両が孤立したため、15日15時44分、福島県知事から第44普通科連隊長(福島)に対して、人命救助に係る災害派遣要請

2. 対応
派遣部隊 陸自：第44普通科連隊(福島)
派遣規模 人員延べ：約60名、車両：1両
活動 孤立状態となった車両約20両の人命救助活動

活動地域

福島駐屯地
第4普通科連隊

平成26年2月15日(土) 19時45分

【⑤ 福島県郡山市における人命救助活動】

1. 経緯
福島県猪苗代湖付近で大雪により車両が孤立したため、15日17時00分、福島県知事から陸自第6特科連隊長(郡山)に対して、人命救助に係る災害派遣要請

2. 対応
派遣部隊 陸自：第6特科連隊(郡山)
派遣規模 交通状況の回復により、孤立状態が解消したため、活動開始前に撤収要請となった。
活動 無し

撤収要請日時
平成26年2月15日(土) 19時00分

郡山駐屯地
第6特科連隊

大雪に関する被害状況

国土交通省
2月16日8時現在

1. 全般状況

- ・死者11名、重体2名、負傷者約1363名。(2月16日7時NHK)
- ・関東甲信越地方の天候は回復したが、14日からの記録的降雪により交通への影響が継続。
- ・東名高速裾野IC付近や直轄国道5路線7区間で立ち往生車両が発生。現在除雪排除中。
- ・高速道路34区間、直轄国道21区間で通行止め。首都圏の常磐道、京葉道路、東関東道、アクアライン等の通行は確保。
- ・鉄道は、22事業者 55路線で運転中止(東北線、中央線、高崎線等)。新幹線は全て運行再開。
- ・航空は、36便(JAL5、ANA29、他2)が欠航
- ・「大雪と暴風雪及び高波に関する全般気象情報第7号」を発表(16日4時41分)。

2. 今後の気象の見通し

- ・北日本と東日本の日本海側は、17日にかけて大雪や猛ふぶきとなる所がある見込み。
- ・18日以降も、北日本と東日本の日本海側は、雪の降る日が多い見込み。19日は、東日本の太平洋側でも、雪の降る所がある見込み

3. 主要都市の7時現在の積雪の深さ(50cm以上)、括弧は前日差

旭川 72 cm (+1 cm)
留萌 76 cm (+2 cm)
札幌 78 cm (+2 cm)
網走 73 cm (+10 cm)
青森 85 cm (+33 cm)
八戸 52 cm (+34 cm)
横手 150 cm (+14 cm)
湯沢 118 cm (+5 cm)
新庄 134 cm (+2 cm)
山形 52 cm (+20 cm)
長野 68 cm (+20 cm)
松本 62 cm (-4 cm)
飯田 56 cm (-16 cm)

甲府 81 cm (-29 cm)
高山 71 cm (+17 cm)
高田 69 cm (-11 cm)

○ (参考)

宇都宮 13 cm (-19 cm)
前橋 41 cm (-30 cm)
熊谷 36 cm (-26 cm)
東京 9 cm (-13 cm)
千葉 4 cm (-6 cm)
横浜 12 cm (-6 cm)
甲府 81 cm (-29 cm)

4. 現在の主な状況

◆道路 ※かっこ書きは前回報告からの増減

○高速道路は、34 区間で通行止め (-14)

○直轄国道は、東北、関東、近畿、中部で 21 区間で通行止め (-3)

■ 5 路線 7 区間で立ち往生車両が発生、現在除排雪中。 ※台数は確認中

(・ 国道 18 号碓氷 BP、軽井沢 BP (約 400 台)

・ 国道 20 号大垂水峠 (10 数台)、大月～勝沼 (約 400 台)

・ 長野県富士見峠 (約 300 台)

・ 国道 52 号静岡県境～身延 (約 200 台)

・ 国道 139 号河口湖町 (約 50 台)

・ 国道 48 号関山峠 (約 30 台)

○補助国道は、89 区間 (被災 1、事前通行規制 88) で通行止め (+32)

○地方道は、272 区間 (孤立 2、事前通行規制 270) で雪等による通行止め (+23)

(これまでの対応)

○高速道路については、14 日より高速道路会社が警戒体制をとり、除排雪作業を進めたが、冬装備をしていない車のスリップをきっかけに立ち往生が発生。除排雪作業を続行中。

○東名で、裾野 IC を先頭に上り線で多数の滞留車両が発生したが、東名上り線の滞留車両は、すべて昨日中に排除完了

○OSA・PA 等において、滞留車に対し食料提供を実施

○直轄国道については、14 日より警戒体制をとり、除雪作業を進めたが、記録的豪雪のため除排雪が追いつかず立ち往生が発生

○立ち往生車両が発生した国道 18 号、国道 20 号、国道 48 号、国道 52 号、国道 139 号

については安否確認完了。地元自治体と協力し食料等の配布、休憩所の提供を実施。
ガソリン配布準備中。

(今後の対応)

- 高速道路については、東名及び中央道に資機材を集中させ、東名は本日中、中央道は明日中の規制解除を目指し除排雪を実施。
- その他の路線については本日から明日にかけて規制解除の見込み。
- 関東甲信越地方の直轄国道については、本日 16 日中の規制解除をめざし除排雪を実施。

◆鉄道：

22 事業者 55 路線 運転中止

○JR 北海道：日高線、函館線

○JR 東日本：東北線、中央線、高崎線、日光線等

○JR 東海：中央線、御殿場線、見延線、飯田線

他

◆航空：

空港施設等被害情報なし

欠航便 36 便 (JAL 5 便、ANA 29 便、その他 2 便)

◆自動車：

【バス】

56 事業者 116 路線で運休等が発生。

【タクシー】

積雪により車庫が崩落し、車両 2 両に被害あり。人的被害はなし。

【トラック】

被害状況の報告なし

【自動車道】

12 路線で全線通行止め

2 路線でチェーン規制

【整備事業】

被害状況の報告なし

◆海事：

2 6 事業者 3 1 航路で運休中

1 8 事業者 2 8 航路で運航再開

◆港湾、公園・宅地、下水、物流、観光等の被害情報なし

5. 国土交通省の対応

◆東北地整において国道48号関山トンネル付近で発生した雪崩に対し、照明車3台が付近の除雪STにて待機中

◆土木研究所から専門家2名を現地に派遣。

◆【雪捨て場としての河川敷地の活用】

市町村等から要請を受け、新たな雪捨て場の確保や面積の拡大など、これまでに、北海道や東北地方等の直轄河川で、332箇所（約452ヘクタール）の河川敷地を雪捨て場として活用。（例年比で約1割増）（2月16日現在）

◆体制

○警戒体制：本省、東北地方整備局、関東地方整備局、
北陸地方整備局、中部地方整備局、

○注意体制：北海道開発局、近畿地方整備局、九州地方整備局、
東北運輸局、関東運輸局、北陸信越運輸局、
中部運輸局、近畿運輸局

平成 26 年 2 月 16 日

関係省庁災害対策会議

確認事項（案）

大雪等の被害への対応にあたっては、以下のとおり、関係地方公共団体と連携を密にし、対応に万全を期する。

- 1 被害状況が、まだ十分に収集できていないことから、迅速な収集に努め、関係省庁間で情報共有を図ること。
- 2 孤立集落や車両の立ち往生などの解消に全力を尽くすこと。
- 3 迅速な除排雪など被害の拡大防止に努めること。
- 4 被災者の方々が一日も早く安心した生活に戻れるよう、可能な限りの支援を行うこと。
- 5 今後とも、気象状況を注視しながら、緊張感を持って、警戒・監視にあたること。
- 6 体育館、アーケード、屋根などの倒壊、崩落が相次いでいることから、その実態と原因及び今後の対策について関係省庁において緊急に調査すること。